

令和5年度武藏村山市立学校 学校経営方針

学校名 大南学園第四中学校

校長名 清水 実

教育目標

小学生の憧れとなるために

- ・知を磨く生徒 (自主・自立)
- ・徳を積む生徒 (共生・貢献)
- ・体を鍛える生徒 (健康・大志)

1 目指す特色ある学校像

小中9年間を通し、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を図る

〈生徒〉 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けた生徒

〈教師〉 生徒を温かく見守り、「主体的・対話的で深い学び」で学力を伸ばす教師

〈学校〉 コミュニティスクールの機能を生かして、保護者・地域と情報や理念を共有して小中一貫教育を進める学校

2 経営の具体策

(1) 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

- ①各種検定試験を小中合同で実施することで、学習意欲と自己肯定感を高める。
- ②話し合い活動を充実させ「自分の考えをもち理由をそえて説明できる生徒」(一貫基準)を標準化する。
- ③放課後や始業前に補習教室の環境を整え、基礎学力の定着と向上を図る。また、課題を与えたり計画を立てさせたりして自主学習ノートを取り組ませ、家庭学習の質の向上を図る。
- ④道徳で、ローテーション授業を行い、「多面的に考え、自分事として議論する道徳」の授業を行う。
- ⑤生徒が主体となる体育的行事を充実させる。また、社会的マイノリティーの方々との交流を通して「学校2020レガシー」の構築を行う。

(2) 特色ある教育活動

- ①不登校対応に全教職員が取り組み、道徳の授業と学級活動、教育相談、アンケート調査等あらゆる角度から生徒に寄り添い、不登校の未然防止と学校復帰に努める。
- ②コミュニケーション授業を行い、小中一貫教育を広く発信するとともに、教育活動に外部の関心を集め、生徒、教職員の意欲の向上と生活態度や服務を正す。
- ③小中一貫教育の在り方を再構築し、交流行事等実現可能な活動を創出する。
- ④総合的な学習の時間等で、SDGsの理念を導入、幅広い課題に自分事として取り組ませる。

(3) 生活指導・進路指導

- ①話し合い活動を通じて生徒の自律心を育て、いじめのない居心地の良い学級づくりを行う。
- ②上級生の体験談やキャリアパスポートで、過去を踏まえ、将来を見通した課題解決に臨ませる。
- ③職場体験から地域への貢献意識を高め、自分の住むまちのより良い姿への具体策を考えさせる。
- ④1年生から進路学習への意識を高め、進学に向けて領域別テストを継続的に実施する。

小中一貫教育推進に向けた方策

小中一貫校基準「自分の考えをもち、理由をそえて説明できる生徒」

・定期的に学園会議と担当者会議を開くことで

- ①小中一貫校の意義を確認し、連携して「知・心・形の統合」を推進する
- ②小中合同で教科指導研修会やOJTを推進し、教師の授業力・指導力の向上を図る
- ③定期的に生活指の情報交換を行い、基本的生活習慣や授業規律の大南スタンダードを作る
- ④小中一貫した生活指導、キャリア教育等で自律心を育て、自らの生活向上を促す